



令和4年度 有田市立箕島中学校 スクールプラン

【 学 校 教 育 目 標 】

進取の気概を持った生徒の育成

【目指す生徒像】

- ①(自主)自己実現を目指し、主体的に学びとることができる生徒
- ②(友愛)豊かな心を持ち、お互いに協力し、思いやりのある生徒
- ③(剛健)粘り強く最後までやり抜く、心身ともに健康でたくましい生徒

前年度の学校評価

- 保護者と学校との連携は図れているが、家庭学習の取組を工夫する必要がある
- 学力向上を目指して、授業力の向上に取り組む必要がある
- 生徒が主体的に活動し、自己の将来を切り拓いていくたくましい生徒を育てる取組を充実させる。

生徒の実態

- 明朗快活で純朴である
- 行事等では団結力を発揮し、よく努力する
- 指示されたことは素直に取り組むが、やや受動的である
- コミュニケーション能力が低い
- 主体的に学ぶ意欲が弱い

有田市学校教育方針

認め合い、学び合い、郷土を愛する子どもの育成を図る～小中連携を通して～

- 一人一人を生かし、学び続ける力を育てる
- 人とのふれあいを通して、豊かな心を育てる
- たくましく健やかな体を育てる
- 自然や文化とのふれ合いを深め、郷土に対する誇りや愛情を育む

保護者・地域の願い

- 主体的に学力・体力の向上に努力する子
- 自他の命を大切にできる子
- 思いやりのある子
- 社会のルールを守る子
- 郷土や学校に誇りをもつ子
- 地域に貢献し、地域を支える子

重点目標

<学力向上>

- ◎主体的に学ぶ生徒の育成
- ◎基礎的・基本的な学習内容の理解
- ◎対話的で深い学びの視点からの授業改善
- ◎読書活動及び家庭学習の充実

具体的な取組

- 生徒の主体的な学びを育成するため、単元計画の充実を図り、毎時間、振り返りから次時の学びにつなげる
- 生きて働く知識・技能の習得とともに、考えを伝え合い、学びを深め合う授業展開を工夫する
- 朝の読書、図書館の活用を充実させる
- 家庭で自主学習の取組みを充実させる

指標

- ・主体的に学習活動に取り組んでいる(6割)
- ・考えを伝え合い、学びを深め合っている(7割)
- ・読書年間貸出冊数(5,000冊)
- ・自主学習帳を毎日提出する(9割)
- ・全国学力・学習状況調査や県到達度調査等の結果は市の平均正答率と同程度である

<道徳教育>

- ◎豊かな心を持ち、仲間を大切にできる生徒の育成
- ◎自他の生命を尊重できる生徒の育成
- ◎自己肯定感、自己有用感の向上
- ◎道徳授業の工夫改善

- 規範意識や思いやりなど道徳の時間で自覚した道徳的価値について実際の生活場面で生かせるようにする
- 学校行事等体験活動を通じて豊かな心を持ち、仲間を大切にすることを育てる
- ティームティーチングで授業方法の工夫改善を行い、人間形成の素地を育てる

- ・自己肯定感の状況「自分にはよいところがある」と感じている生徒(8割)
- ・生命尊重や他者への思いやりの状況を生徒アンケートから見取る。
- ・「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う」と考えている生徒(9割)
- ・道徳の時間と体験活動を関連づけ、道徳的実践力が高まったか生徒の変容を見取る

<生徒指導>

- ◎いじめ未然防止(いじめ防止基本方針)
- ◎自己決定の場や自己存在感を与え、共感的な人間関係の育成
- ◎スマホ・ネットの安心安全な利用の推進
- ◎部活動の充実

- 生徒自身がよりよい生き方が求められるよう積極的な声かけや自分ログの活用を図る
- 生徒自身が考え、話し合い、決定する場面を充実させ、自己実現を目指す指導の充実を図る
- 学校行事等体験活動を通じて共感的な人間関係を育てる。
- ネット環境の利用に関する指導を充実させる
- 生徒が主体的に部活動に取り組むよう工夫する

- ・学校や社会のルールを守っている(9割)
- ・いじめを見逃さない生徒(9割)
- ・「学校が楽しい」と感じている生徒(9割)
- ・「クラスに貢献している」と感じている生徒(8割)
- ・困ったときに相談できる先生がいる生徒(8割)
- ・目標を持ち主体的に取り組んでいる生徒(8割)

<家庭・地域との連携>

- ◎社会貢献の推進
- ◎ふるさと学習の推進
- ◎地域との関わりの推進

- 地域行事への積極的な参加を図る
- ボランティア活動の推進を図る
- 地域へ積極的に情報発信する
- 家庭、地域と学校教育目標を共有する機会の充実

- ・地域行事への参加(2回/人)
- ・ボランティア活動への参加(2回/人)
- ・学校だよりを定期的に発行(1回/週)
- ・ホームページの積極的活用(1回/週)